

平成27年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 相模原市役所都市建設局土木部下水道施設課	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 下水道施設課 辻 圭宏 TEL : 042-707-7052 FAX : 042-754-1068 E-Mail : y.tsuji.gc@city.sagamihara.kanagawa.jp
代表者氏名 相模原市長 加山 俊夫	
(他薦の場合) 上記団体を推薦する団体の名称	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】

部門名 広報部門 ①行政広報部門	事例名 工事現場で下水道事業をPR!!
---------------------	------------------------

事例の概要 (適宜、写真、図、記事の画像等を挿入して下さい)

【概要】

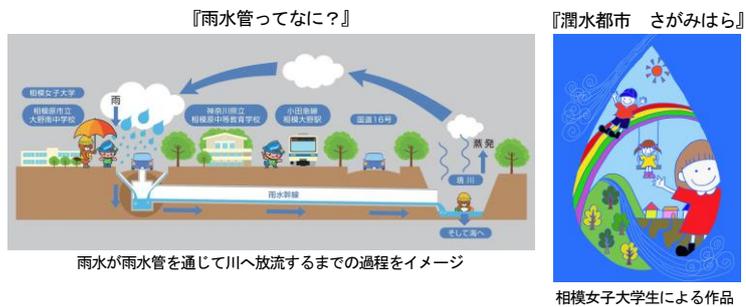
相模原市では、大雨による浸水被害の解消・軽減に向け雨水管の整備を進めており、当該工事は3ヶ年の継続工事で雨水幹線であるφ2600mmの雨水管をシールド工法を用いて整備した。なお、シールド工法は昼夜間の連続した作業のため、近隣への影響を考慮し、防音ハウスを設置したことから、殺風景な壁面を利用して下水道事業のPRを実施した。

【PR活動①】

○みんなの声『雨水管ってなに?』をPR
水の循環をイラスト化することで、雨水管を通じて循環されていることがわかるよう表現した。

○近隣大学との連携によるPR

平成26年5月21日に締結した包括連携協定の一環として、相模女子大学生の協力のもと当市が掲げる「潤水都市 さがみはら」をイメージしたイラストを公募により決定した。



雨水が雨水管を通じて川へ放流するまでの過程をイメージ

相模女子大学生による作品



(Access:相模原市南区文京1丁目)



【PR活動②】

○その他のPR

当市のシティーセールスの一環として行われた「防災減災都市ツアー」において小学生を含む計30名程度を対象に現場見学会を実施したほか、市HPや業界誌などに掲載し、市内外へも下水道事業のPRを図った。



エントリー事例の特徴 (施策等そのもの特徴ではなく、施策等を発信する広報戦略及びその効果が優れていると考えている点を明記願います)

当該工事箇所は、当市のターミナル駅である小田急線相模大野駅や商業施設、教育施設などが近く、駅や商業施設利用者、学生などが頻りに往来する場所であったため、この度のPR事業は当市や下水道事業の効果的なPRとなり、市内外への発信に繋がった。

付属資料の提出	あり ・ なし (どちらかに○)
---------	------------------